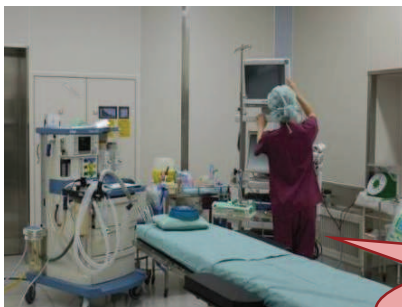


手術室看護師の1日



8:30 出勤

白衣から手術着に着替え全員でミーティングします。
ミーティングで1日の手術予定を確認し、連絡事項をみんなで確認していきます。



8:40 手術準備

主治医・麻酔科医と相談しながら手術が円滑に行われるように部屋の準備を整えます。
特にモニターや専用の機械など動作確認や褥瘡予防に配慮したベッドの作成を行います。

ベッドは低反発素材を使用し褥瘡予防に配慮しています。
手術室は部屋の外に不潔器械回収廊下を設け、清潔と不潔を区別できるようになっています。



手洗いをを行い、清潔ガウンに着替えます。
手術器械に不備がないか点検しながらそれぞれの手術に適した器械を準備していきます。



病棟の看護師より申し送りを受け、継続性のある看護を行えるように情報共有をしていきます。



患者さまは慣れない手術室の環境に緊張してしまう事が多いため、処置の前には必ず説明を行いながら手術準備を進めていきます。
患者さまのそばに常に付き添い、不安が少なくなるように配慮します。

患者さまの好みの音楽を流すなどのしてリラックスできるような環境を整えていきます。
患者さまの精神状態に合わせ声掛けを行いながら会話を進めていきます。



執刀医・看護師・麻酔科医など全員でタイムアウトを行い患者確認を徹底しています。

医師・スタッフ全員が手を止めてタイムアウトに参加します。
手術前は承諾書を見ながら患者名・病名・術式・ネームバンドを確認していきます。



手術開始

器械出しの看護師はスムーズに手術が進行できるように、術野に気を配りながら器械を渡していきます。

外回りの看護師は患者さまの状態を観察しながら記録を行い、手術全体がスムーズにできるようにコントロールしていきます。

記録をスムーズにし、看護の標準化を図るために術式別パスを使用することもあります。

ガーゼの遺残を防ぐためにタイムアウトしてガーゼカウントしていきます。
また器械の遺残や欠損がないか注意していきます。